

第66期
中間事業報告書

2016年4月1日から2016年9月30日まで





ご挨拶

アクシアル リテイリングが誕生して、3年が経過しました。
10月には、中期経営計画の要となるフレッセイ前橋物流センターが稼働いたしました。これにより、フレッセイを含めたグループ全体の物流の基盤が確立しつつあります。

おかげさまで、当中間期の業績は過去最高となりました。
これからも統合効果を十分に発揮し、変革に挑戦し続け、チェーンストアとしてのより高いメリットを地域の皆様に提供してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

原 和彦



フレッセイ前橋物流センターが稼働開始

当社グループでは4か所目の大規模物流センターとなるフレッセイ前橋物流センター(9月、群馬県前橋市、延床面積9,516㎡)が竣工いたしました。また、併せて、フレッセイの基幹系情報システムの入れ替えも行いました。

これらは、原信ナルスで培った経験や技術を土台に改良を施して構築したものであり、フレッセイにおいても、流通全般を支える高度な物的基盤が整いました。

フレッセイでは、これを活かして従業員の働き方や業務体系全般の大改革を進め、収益性の向上を図るとともに、従来以上のより良い商品・サービスをお客様へお届けできるよう努めてまいります。

また、当社グループ全体としても、最適な事業運営が実現できるよう、物流拠点間の連携を進めてまいります。



フレッセイ前橋物流センターの機能効果

- 1 定時一括配送による店舗作業の効率化
- 2 産地から店舗までの一貫した低温物流の改善
- 3 毎日納品、新自動発注による店舗の品切れ削減と適正在庫
- 4 商品在庫機能による戦略仕入れ

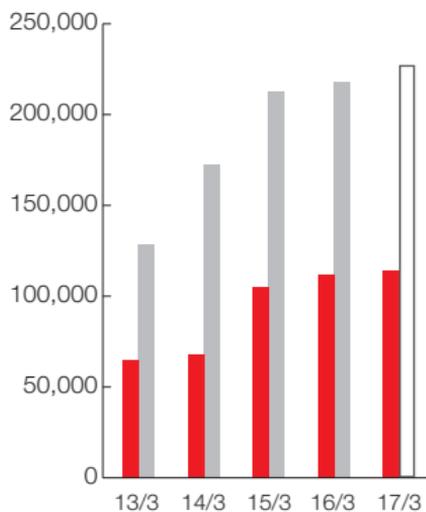


業績ハイライト

売上高

1,137 億円

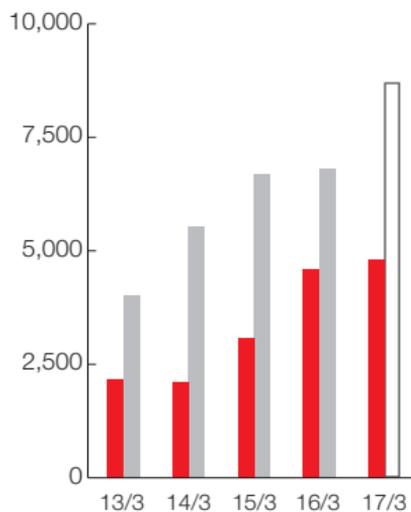
前年同期比
2.3%増



営業利益

48 億円

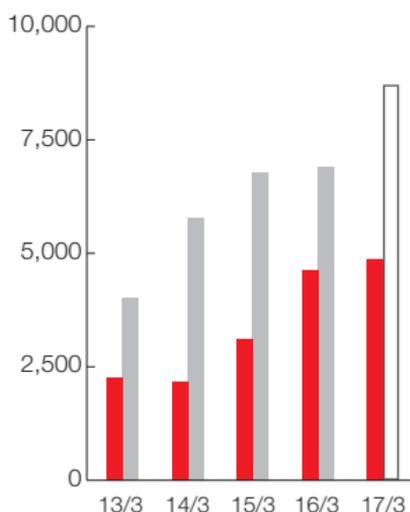
前年同期比
5.1%増



経常利益

48 億円

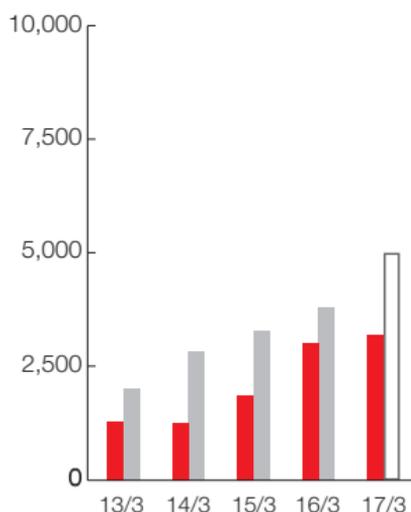
前年同期比
5.7%増



親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益

32 億円

前年同期比
6.5%増



■ 中間 ■ 期末 □ 期末予想

単位：百万円

業績ハイライト

当中間期における当社グループの連結業績は、売上高が1,137億5百万円(前年同期比2.3%増)、営業利益が48億6百万円(前年同期比5.1%増)、経常利益が48億73百万円(前年同期比5.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益が32億7百万円(前年同期比6.5%増)となり、各数値はいずれも第2四半期連結累計期間として過去最高になりました。

(全般)

お客様の購買動向は、当連結会計年度に入ってから、より慎重な傾向に転じ、既存店の売上高は、前年同期に比べ0.3%増加したものの、既存店の客数は、前年同期に比べ0.6%減少いたしました。

業態を超えた競争が激化する昨今の厳しい販売環境において、当社グループでは「変革への挑戦」を本年度の方針として定め、より一層強い企業体質を実現するため、グループ全体の経営基盤整備に取り組んでおります。

(商品政策)

生鮮食品につきましては、青果相場が比較的安定して推移した半面、精肉相場は一時異常な高値となりました。また、鮮魚につきましては、旬の主力魚種の不漁が続きました。

加工食品につきましては、残暑が長引いた影響で、夏物商品から秋物商品への切り替えが進みにくい状況となりました。

このような状況において、他社と差別化を図るべく、当社ならではの名物商品の開発、既存商品の磨き込み、優良産地からの商品調達、品揃えの見直しに努めました。

惣菜につきましては、焼き鳥について、当社独自の商品仕様で新たに開発した結果、原信ナルスにおいて4月単月で前年同月の2.8倍にあたる1億円以上を販売する大型商材となりました。

寿司につきましては、原料から副原料に至るまで根本から見直しを行うとともに、店舗の販売計画、当社の食品製造子会社の店舗支援体制および様々な媒体を活用した販売促進戦略が一体となって活動することで、大きな販売実績を実現することができました。

これらの結果、買上点数は、既存店で前年同期に比べ0.5%増加し、全店でも前年同期に比べ0.6%増加いたしました。また、一品単価は、既存店で前年同期に比べ0.4%増加し、全店でも前年同期に比べ0.5%増加いたしました。



(販売政策)

原信ナルスでは、本年度の方針に「潜在ニーズへの対応」を掲げ、お客様の潜在的なご要望にお応えするべく、従来にはない商品のご提案方法やサービス等、創意工夫や仮説検証を行い、実績があったものについては、全社で共有し実行に移しております。

こと本年度の夏季商戦に関しましては、地域行事の曜日回りが例年に比べ非常に不利な状況にあり、営業数値が相当低下することが事前に想定されました。これに対し、重点政策として、「売れて利益が確保できる商品の販売拡大」、「値下げ、廃棄、売れ筋商品の品切れ撲滅」、「成功事例の全社共有、活用」の3点を掲げ、グループ全体で力を集結し目標数値の達成に取り組みました。

フレッセイでは、時間帯別に最適な売場を実現するための仕組みを改めて再構築し、全店で取り組み始めました。

これらの結果、既存店の店舗売上高は、前年同期を上回る実績を確保することができ、店舗段階の売上総利益率は、前年同期に比べ0.1ポイント増加し25.3%となりました。



フレッセイ元総社蒼海店 2016年9月29日開店

(コスト・コントロール)

経営統合以来進めているグループ全体での諸経費の見直し、共有、共同調達等の取り組みは、年々、その効果が増しております。

また、近年導入した自動発注の仕組みによる労働生産性の改善、省エネルギー機器の導入による水道光熱費の削減、環境維持活動への取り組みも効果が表れております。

この結果、スーパーマーケット事業の営業利益率は、前年同期に比べ0.1ポイント増加し4.0%となりました。

また、連結全体の営業利益率は、前年同期に比べ0.1ポイント増加し4.2%となりました。

(出店・退店等)

出店につきましては、フレッセイ元総社蒼海店(9月、群馬県前橋市、売場面積2,228㎡)を新設いたしました。

改装につきましては、原信新潟店(8月、新潟県新潟市、売場面積2,392㎡)、原信十日町北店(9月、新潟県十日町市、売場面積1,888㎡)について実施いたしました。

退店につきましては、フレッセイ元総社蒼海店の開店に伴い、近隣のフレッセイ大友店(9月、群馬県前橋市、売場面積918㎡)を閉鎖いたしました。

商品紹介

アクシアルのミルクココア



事前告知で、多くのお客様に、従来にはないコクと香りをご評価いただき、発売開始1カ月で10万個を超える販売を記録しました。

アクシアルの焼き鳥



鶏肉はアクシアルオリジナルの大きさに、タレは美味しさを科学的に分析して開発しました。おいしさをアピールして月間1億円以上を売上げました。

主要財務データ

四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 2016年3月31日	当第2四半期連結会計期間 2016年9月30日
資産の部		
流動資産	23,443	22,477
固定資産	69,557	72,131
資産合計	93,001	94,609
負債の部		
流動負債	29,904	29,470
固定負債	17,856	17,410
負債合計	47,760	46,881
純資産の部		
株主資本	43,842	46,045
資本金	3,159	3,159
資本剰余金	15,749	15,749
利益剰余金	24,990	27,193
自己株式	△56	△57
その他の包括利益累計額	1,398	1,681
純資産合計	45,240	47,727
負債純資産合計	93,001	94,609

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 2015年4月1日から 2015年9月30日まで	当第2四半期連結累計期間 2016年4月1日から 2016年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,684	5,010
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,019	△3,769
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,427	△1,592
現金及び現金同等物の増減額	△761	△352
現金及び現金同等物の期首残高	12,210	11,308
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,448	10,956

四半期連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 2015年4月 1日から 2015年9月30日まで	当第2四半期連結累計期間 2016年4月 1日から 2016年9月30日まで
売上高	111,141	113,705
売上原価	80,886	82,740
売上総利益	30,254	30,965
販売費及び一般管理費	25,680	26,158
営業利益	4,574	4,806
営業外収益	104	125
営業外費用	66	57
経常利益	4,611	4,873
特別利益	5	3
特別損失	8	142
税金等調整前四半期純利益	4,608	4,734
法人税等合計	1,595	1,527
四半期純利益	3,012	3,207
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,012	3,207

四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 2015年4月 1日から 2015年9月30日まで	当第2四半期連結累計期間 2016年4月 1日から 2016年9月30日まで
四半期純利益	3,012	3,207
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	288
退職給付に係る調整額	△8	△4
その他の包括利益合計	△5	283
四半期包括利益	3,007	3,491
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,007	3,491
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

我々は毎日の生活に必要な品を
廉価で販売し、
より豊かな文化生活の実現に
寄与することを目的とする。

アクシアル リテイリング グループビジョン

Advanced Regional Chain

アドバンスト

リージョナル

チェーン

お客様へより一層のメリットを提供するために、
「強固で優良なリージョナル・チェーン※」を
目指し、重点項目を掲げ、邁進してまいります。

※リージョナル・チェーン：一定数以上の店舗を出店している地域が2つ以上あるチェーンストア。

1 日本一のサービス

「判断の基準はお客様」を念頭に、お客様に満足していただけるよう、
基本の徹底とレベルアップを図ってまいります。

2 SSM[※] 200店舗

一定数以上の適正規模を備えた店舗を有するチェーンストアの形成に
より、お客様へスケールメリットを提供してまいります。

※SSM(Super Supermarket)：売場面積500～800坪のスーパーマーケットのこと。

3 信頼の構築

日々ご来店いただく多くのお客様や当社グループを取り巻く
皆様から信頼していただける企業風土作りに努めてまいります。

スーパーマーケットの店舗展開



新潟県、長野県、富山県に

76

店舗



富山県

長野県

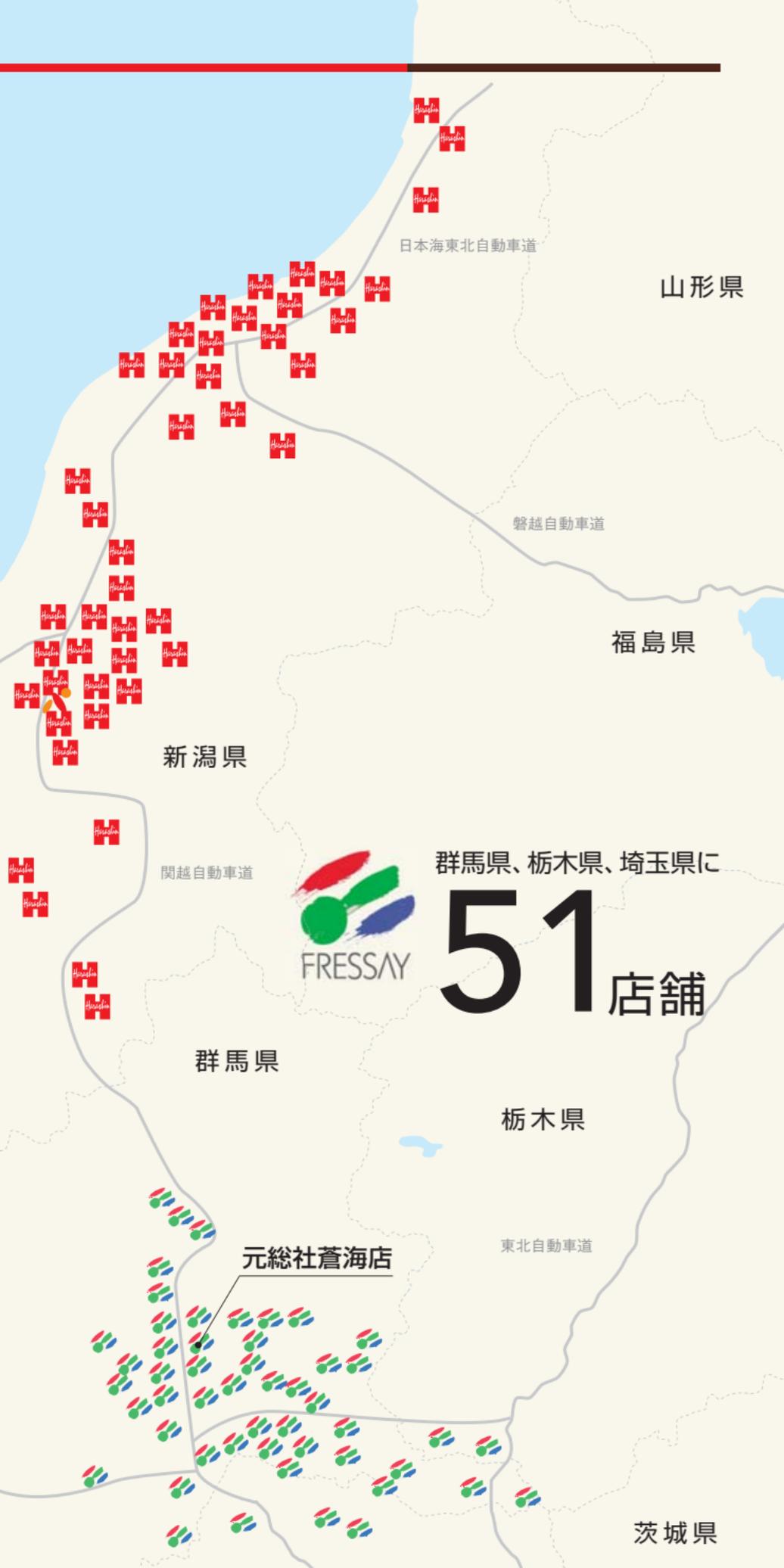
岐阜県

北陸自動車道

上信越自動車道

長野自動車道

上信越自動車道



株主優待制度

毎年3月31日および9月30日現在の株主名簿に記載または記録された、100株以上を保有される株主の皆様に対して、下記の贈呈基準をもとに、株主優待券（以下、「お買い物割引券」と表記します。）あるいは株主優待品の中から一点をご選択いただき贈呈いたします。

1. 株主優待制度の内容

- ① **贈呈内容** お買い物割引券または株主優待品のいずれかをお選びいただきます。
各々の贈呈基準は「2. 株主優待制度の贈呈基準」を参照ください。（お買い物割引券と株主優待品の両方を選択することはできません。）
- ② **対象者** 100株以上の株主
- ③ **贈呈基準** 3月31日および9月30日現在の株主を対象に年2回実施
- ④ **贈呈方法** 対象者に案内書を送付し、案内書に添付された申込書に必要な事項をご記入の上ご返送いただき、申込書と引き替えに商品等を贈呈いたします。

2. 株主優待制度の贈呈基準

(1) お買い物割引券(額面100円)

① 贈呈基準

100株以上	500株未満	15枚	3,000株以上	4,000株未満	150枚
500株以上	1,000株未満	30枚	4,000株以上	5,000株未満	200枚
1,000株以上	2,000株未満	50枚	5,000株以上		250枚
2,000株以上	3,000株未満	100枚			

② 使用方法

一回のお買上金額1,000円以上につき、1,000円ごとに1枚(割引額100円)利用可能

③ 使用できる店舗および対象商品

原信、ナルス、フレッシュイの直営売場における全商品
(ただし専売品・商品券・その他指定商品は除く。)

④ 有効期限

3月31日現在の株主へのお買い物割引券は、配布日から翌年1月31日まで
9月30日現在の株主へのお買い物割引券は、配布日から同年7月31日まで

(2) 株主優待品の贈呈基準

贈呈基準

100株以上	500株未満	クオカード1,000円分
500株以上	1,000株未満	以下の2品より1品お選びいただけます。 <ul style="list-style-type: none">●クオカード2,000円分●新潟県産こしひかり(米)5kg
1,000株以上		以下の3品より1品お選びいただけます。 <ul style="list-style-type: none">●クオカード3,000円分●新潟県産こしひかり(米)10Kg●自社開発商品詰め合わせ1セット

会社データ

会社の概要

商 設 所	在 地	号 立 地	アクシアル リテイリング株式会社 1967年(昭和42年)8月 新潟県長岡市中興野18番地2 Tel:0258-66-6711 Fax:0258-66-6727
資 上 証 ホ	本 場 券 ー	金 取 引 所 コ ー ド ド ー ド ー ド ー ド ー ド	31億5,971万2,610円 東京証券取引所市場第1部 8255 http://www.axial-r.com/

取締役、執行役員および監査役

代表取締役社長	原	和彦
代表取締役副社長	植木	威行
取締役副社長・執行役員	五十嵐	安夫
専務取締役・執行役員	山岸	豊後
常務取締役・執行役員	小出	朗
取締役・執行役員	森山	仁
取締役・執行役員	丸山	三行
取締役・執行役員	加部	敏夫
取締役・執行役員	中川	学
取締役	細貝	巖 (社外取締役・独立役員)
取締役	新原	皓一 (社外取締役・独立役員)
執行役員	吉田	浩和 (財務経理部長)
執行役員	松口	克彦 (総務部長)
執行役員	小林	政信 (経営企画部長)
執行役員	丸山	将範 (TQM推進部長)
常勤監査役	八子	淳一 (社外監査役)
常勤監査役	藤田	友三郎
常勤監査役	岩崎	良次
監査役	金子	健三 (社外監査役)

株主メモ

事業年度	4月1日から3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
中間配当基準日	9月30日
期末配当基準日	3月31日
株主優待制度	有(年2回)
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711(フリーダイヤル)
(お問合せ先 郵便物送付先)	